

プラント耐震設計と地震対策



商品コード：HZ2103

プラント耐震設計と地震対策

販売価格/ 3,300 円(税込)

通常価格/ 3,300 円(税込)

配管技術 2021年3月 増刊号

1995年の阪神・淡路大震災、2007年の新潟中越沖地震、そして2011年東日本大震災などにより、プラント関連の設備は何度も地震による大きな被害を受けてきました。耐震設計の各種基準も地震による被害を省みて、その都度改訂されています。本特集では、耐震設計の技術的な紹介、すでに運用されている新耐震告示体系の制度紹介、地震対策に有効な配管関連製品の紹介などについてまとめています。

B5判 本文116ページ

2021.3.15

目次

<耐震設計>

◆継手補強による効率的な既設ダクタイル管の補強方法/大成機工㈱/戸次浩之

過去の地震被害で継手の抜けが多く発生したことを受けて開発した既設管用継手補強金具を紹介する。取り付け後も継手の曲げ性能を維持しながら離脱阻止力を付加する補強金具である。短時間施工、断水不要などの特徴がある。

◆ゴム製フレキシブル継手について/㈱TOZEN 千葉健男

建築・土木・プラント分野での配管で、地震対策として、用途別に抜粋した製品、設置要領、施工例の紹介と、製品の耐用年数の目安とする要因による係数区分を合わせて紹介する。

◆地震対策におけるフレキシブルホースの有効性/南国フレキ工業㈱/中本亮宏

地震に伴い発生する地盤沈下対策におけるフレキシブルホースの有効性及び強度評価について解説し、外装ブレードが破断したときのペローズの動きを、イラストを用いて紹介する。

◆二重管式ペローズ型伸縮可撓管/日本ニューロン㈱/西 勇也

本稿では水道など各種配管の災害対策として注目されているペローズ型伸縮可撓管について説明する。また、厳しい安全管理が求められる管路に適した二重管式ペローズ型伸縮可撓管についてその構造や使用例を紹介する。